

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 260 2016.2.17 連絡先 402-1622 >

にぎやかに開催 —中ブロック新春のつどい

2月14日、「お昼過ぎまで春の嵐」という天気予報はどこへやら、朝から青空もどく暖かい日になり、会場いっぱいのたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

初めに、後援会長の阪本康文弁護士、前久党北部地区委員長、坂口多美子党県平和くらし委員長、そして私松坂がお話しさせていただきました。戦争法廃止のためには、署名などの活動はもちろん、共産党を大きくすることも必要、ぜひともご支援ご協力を、また、一緒にがんばりましょうと訴えました。

今年は、年金者組合のみなさんをお願いし「南京玉すだれ」と「フラダンス」を、四ヶ郷後援会の方には「土笛」をそれぞれ披露していただきました。その後、みんなで歌を歌い、最後にじゃんけん大会をして会は終わりました。和やかに、明るく盛り上げていただきました。



買い物や下ごしらえなどの準備から当日の会場づくりやお世話係まで各地域の後援会の方々にたくさん手伝っていただき、ありがとうございました。参加者のみなさんも一緒に、みんなで作り上げたつどいになりました。「楽しかったね」「いい会だったね」の感想に、元気をたくさんいただきました。

みち子のひとりごと 未知との遭遇？

私にとつては、どんなものに出会えるのか「未知との遭遇」が魅力です。時には、寝てしまうこともあり（ごめんなさい）が、生の迫力に圧倒され、満たされることが多いです。忙しい時もありますが、こだわって、できる限り見続けたいと思います。



演劇鑑賞会に入っています。2カ月に1回の例会で演劇を鑑賞するのが楽しみです。毎月の会費の出費は痛いけど、会費は「入場料」ということではなく、いろいろな出会いの場をつくる演劇鑑賞会を支えるための会費です。「見続けることで、さまざまな演劇に出会い、その感動を広げるなかで、地域社会の豊かさを育てていく運動であり、日本の演劇の民主的な発展に貢献します」と手帳に書いてあります。ミュージカルあり、喜劇あり、人形劇もあります。今度の演劇は何かと確認しないで、見に行つて初めて、こういうものだったんだと認識することもあります。演劇は見たい作品や人物を選んで見るものではないかと、いつもいらつしゃいます。

総務相の「電波止める」発言と 電波3法とは(2月14日付しんぶん赤旗より)

Q. 高市早苗総務相が“放送法4条を守らない放送局の電波を電波法76条に基づいて止めることは可能だ”と言ったけど、どういうことなの?

A. 放送法4条は、放送局が守るべき準則を定めたもの。公安及び善良な風俗を害しないこと 政治的に公平であること 報道は事実を曲げないで 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること - の4つだ。電波には限りがあり、影響力も広範だから言論の多様性を守ろうというのが条文の主な趣旨だ。従来、放送局の倫理規定だと解釈されてきた。だから、電波法76条(放送局が放送法に違反したときは総務相が電波を止めることができる)を理由に停波した例はない。最近、政府が解釈を変え、4条違反は行政処分だ、停波だと、まるで脅しだ。

Q. 電波3法とはなに?

A. 電波法、放送法、電波監理委員会設置法の3つを指す。1950年に同時に制定された。戦前、政府が電波を管掌して国民を戦争へ導く放送した轍を踏まないため、電波を国民のものとした制度の基礎だ。象徴的なのは電波監理委員会。政府から独立した行政委員会で、電波行政を執行した。先進諸国にも同様の独立行政委員会がある。52年、吉田茂内閣が電波監理委員会設置法を廃止した。政府が電波行政を直接行うためだ。以後、放送は国の免許制度となり、政府を監視するべき放送局が逆におもねる構図ができることになった。

「放送法の政治的公正の意味を 全く分かっていない」

日本共産党の小池政策委員長は会見で、高市総務相の一連の発言について批判しました。

小池氏は、総務相が憲法9条を変えることに反対する見解を相当時間繰り返した場合も電波停止の可能性を否定しなかったことから、「憲法9条を守ろうということが公正でないというわけだ。憲法99条で大臣には憲法を守る義務がある。憲法通りにしようということが公正でないという大臣のもとで、公正かどうか判断することになったら、大変なことになる」と指摘しました。

こんにちは

坂口多美子です

県内各地にある女性後援会、いつもあたたかく迎えてくれることに大変嬉しく思っています。

先日、有田川町の女性後援会「たんぼの会」のつどいに参加しました。昼食を食べながら最近続けざまに起こっている自民党議員の不祥事や、医療・介護など社会保障をどんどん削る安倍政治に腹が立って仕方がないと次から次に怒りの声が上がりました。参加者から「怒りは

行動に移さなければいけない」と、つどいが終わってからみんなが街頭宣伝を行いました。行きかう車からガンバレのアピールがたくさんあり元気が出ました。
2月9日党本部で行われた候補者会議での提起、「参議院選挙に向け、候補者先頭に脇目もふらずに頑張ろう」を胸に全力で頑張っています。



2月定例議会

2月25日開会の予定です
新年度の予算を決める議会です

ぜひ、傍聴にお越しください

市役所に来られない場合は、パソコンやスマートフォンで、生中継で見ることができます。また、4~5日後には録画でも見られます。